

佐 福 第 118 号
平成 17 年 1 月 14 日

ピープルファーストジャパン

会 長 小 田 島 栄 一 様

しゃかいふくしほうじん さどふ
社会福祉法人 佐渡福祉会
りぢちよう わたなべてい
理事長 渡 邊 貞 治



とうほうじん うんえい しせつ しょくいん りようしゃ ぎやくたい こうい
当法人の運営する施設において、職員が利用者を虐待するなどの行為があ
ったことは、まことに申し訳なく、弁解の余地はありません。新聞報道の後、
にいがたけん とくべつかんさ おこな ほうじん じつたいちようさ じっし
新潟県の特別監査が行われましたし、法人でも実体調査を実施しているところ
であります。現在は、法人全体として再発防止に取り組んでいるところであ
りますので、ご理解いただきたいと存じます。

また、昨年暮れには、はるばるらいとう ほうじん じつたいちようさ とど
て誠に恐縮に存じます。要望書への回答は下記のとおりですが、当法人の
せいいつぱい かいとう りかい ねが もう あ
精一杯の回答であることをご理解くださるようお願い申し上げます。

き
記

1 「虐待の事実をすべて社会に公開すること」について

ほうどう しょくいん ちょうさ わたくし し ぼつ あた
報道された職員を調査したところ、私たちが知っていてすでに罰を与
えたことのほかに、2件の暴力があきらかになりました。これは、その後
の新聞でも報道され、社会に公開されました。

その他の職員については、ただいまアンケートなどによって調査中
です。

2 「虐待被害者、すべての利用者に謝罪し、慰謝料を支払うこと」について

ぎやくたいひがいしゃ りようしゃ しゃざい いしゃりよう しはら
虐待被害者、すべての利用者にはすでに謝罪いたしました。役員、
しょくいんいちどう ところ もう わけ おも いしゃりよう しはら
職員一同、心より申し訳なく思っております。慰謝料の支払いについて
は、保護者の方のご理解をいただいて、支払いは行っておりません。

ただし、お金で償うことはできませんが、利用者の皆様が安心して生活

できる施設であるように、今まで以上に努めてまいりますので、これをもって償いとさせていただきますと存じます。

- 3 「施設の職員が全員やめて、二度と福祉の現場にもどらないこと」について

わたしどもの法人の、2つの入所施設には、合わせて100人の利用者が生活しています。職員は約60人おります。今回、ある職員の心ない行為が報道されたことで、皆様の憤りはお察しいたします。しかし、利用者の皆様、その保護者の皆様は引き続き、岩の平園・第二岩の平園での生活を望んでおられます。また、職員は、利用者の皆様が人間らしい生き方ができるよう努めておりますので、ご理解いただきたいと存じます。

- 4 「利用者が地域で暮らして、岩の平園・第二岩の平園を閉鎖すること」について

わたしどもの施設で生活している100人の利用者は、全員が佐渡ヶ島のひとで、保護者も同じ島内で生活しています。利用者全員が施設を出て、地域社会で暮らすことに異論はございませんが、現実には様々な困難が立ちまわります。佐渡ヶ島では、地域で生活するには、まだまだサービスが整っておりません。仮に、岩の平園・第二岩の平園を閉鎖したら、現在利用している人たち、保護者・家族の人たちが困ることになります。

- 5 「社会生活上の困難をかかえる当事者同士の話しあいをもつこと」について

わたしどもの法人で運営している入所施設や通所施設では、盆踊り大会や園祭などの行事で、利用者の交流は盛んに行っています。また、どの施設も利用していない在宅の人たちとも、サポートハウス「陽だまり」で映写会や餅つき大会などの行事に参加いただき、月2回ではありますが、交流の輪は広がっています。